

おきたま米づくり情報No.9

出穂早い予想！「はえぬき」「雪若丸」「つや姫」の穂肥の時期は終わりを迎えています！まだの場合はすぐ穂肥！カメムシ多い！草刈り徹底！

7月10日現在の生育診断圃の生育は、草丈が平年並み～長い、茎数・葉数がやや多い～多い、葉色がやや淡い～やや濃い状況となっています。幼穂長調査等から**東南おきたま管内の「はえぬき」「雪若丸」の出穂は7月29日頃から、「つや姫」の出穂は8月5日頃から始まる**とみており、穂肥の施用時期は終盤となっています。まだ施肥していない場合は早急に施用しましょう。また、7月2日に**斑点米カメムシ類注意報**が発出されました。畦畔や農道の草刈りを徹底して、生育密度を下げ、適期防除で被害ゼロを目指しましょう。

生育状況（7月10日現在、農業技術普及課生育診断圃）

「はえぬき」生育診断圃の状況

項目	川西町吉田		概況 (平年値との比較)
	調査値	平年比・差	
草丈(cm)	54.8	100	平年並み
茎数(本/m ²)	655	103	やや多い
葉数(枚)	10.8	+0.5	やや多い
葉色(SPAD)	44.5	-1.1	やや淡い

「つや姫」生育診断圃の状況

項目	川西町黒川		概況 (平年値との比較)
	調査値	平年比・差	
草丈(cm)	64.8	110	長い
茎数(本/m ²)	744	126	多い
葉数(枚)	11.1	+0.7	多い
葉色(SPAD)	43.5	+1.3	やや濃い

「雪若丸」生育診断圃の状況

項目	高畠町山崎		概況 (平年値との比較)
	調査値	平年比・差	
草丈(cm)	56.1	105	やや長い
茎数(本/m ²)	758	110	多い
葉数(枚)	11.8	+0.6	多い
葉色(SPAD)	45.5	+0.8	平年並み

1か月予報（7月4日 気象庁発表）

気温：7/6～7/12：高い
7/13～7/19：高い
7/20～8/2：平年並みまたは高い見込み
降水量：多い見込み
日照時間：平年並みまたは少ない見込み

つや姫の穂肥診断 直ちに実施！

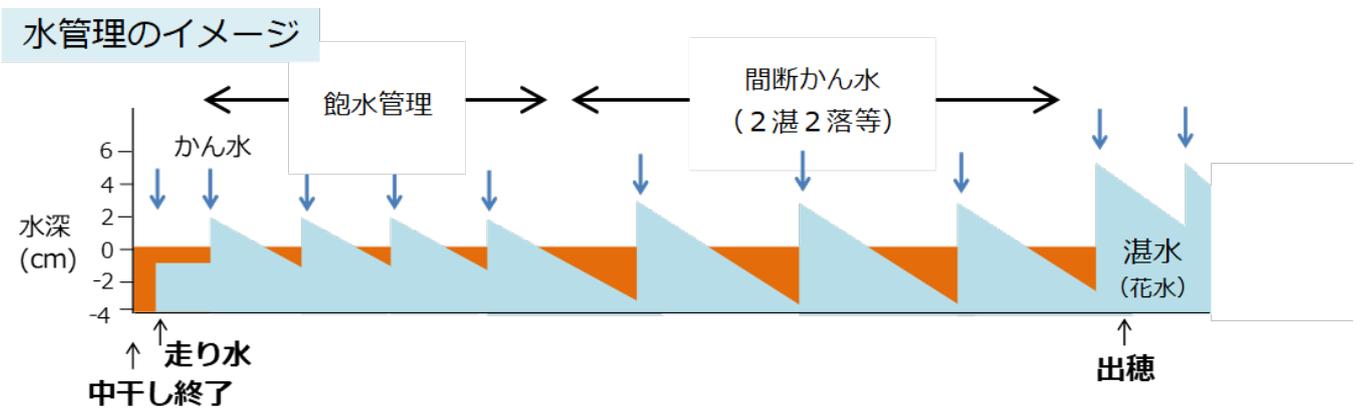
- 茎数 600 本/m²以下かつ葉色（SPAD）39 以下の場合→出穂 30 日前：N成分 1.5 kg/10 a
- 茎数 600～650 本/m²、または葉色（SPAD）39～41 の場合→出穂 30 日前：N成分 1.0 kg/10 a 以下
- 茎数 650 本/m²以上、または葉色（SPAD）41 以上
→出穂 25 日まで葉色が低下したら、N成分 1.0 kg/10 a。葉色が低下しない場合は追肥を行わない。

雪若丸の穂肥診断 直ちに実施！

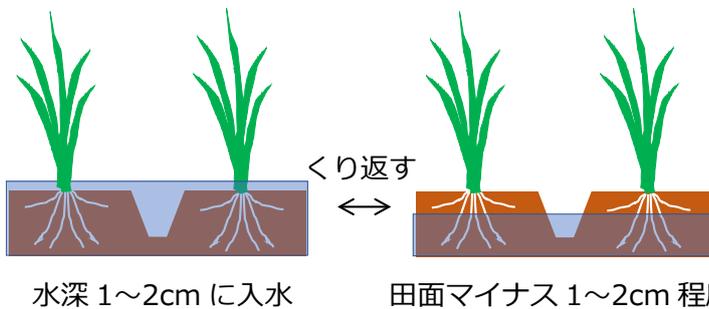
- 茎数 560～750 本/m²以下、葉色（SPAD）40～44 の場合→出穂 25 日前：N成分 1.5 kg/10 a
- 茎数 560 本/m²未満、葉色（SPAD）40 未満の場合→早めの穂肥、出穂 30～26 日前：N成分 1.5 kg/10 a
- 茎数 750 本以上、葉色（SPAD）44 以上の場合→出穂 25 日前、N成分 1.0～1.2 kg/10 a
※幼穂長 0.5mm～1 mm ⇒ 出穂 25 日前

中干し終了後～出穂までは「飽水管理」「間断かん水」を徹底し、根をしっかりと伸ばす！！

- 中干し終了直後は、飽水管理（土壌表面の足跡に水が残る程度）とし、徐々に間断かん水（2日湛水・2日落水）に切り替え、根の活力を維持します。
- 中干しが十分に行えなかったほ場では、間断かん水の落水期間をやや長めにしましょう。



【飽水管理のイメージ】



地表（田面）に水がないが、くぼみには溜まっていて、土壌が常に湿潤状態に保たれている

- ◎ **水のためっぱなしは致命傷！ 土壌の還元が進み根へのダメージ！**
- ◎ 水管理を効率的かつ容易にするため、作溝は必ず実施しましょう！

いもち病に要注意！

- 「葉いもち」の発生に要注意！感染好適日が続いています。
早期発見・早期防除を徹底しましょう。
- 「穂いもち」対策の粒剤は出穂20～10日前に施用しましょう。



葉いもちの病斑

「斑点米カメムシ類の発生」多い！

- 地域全体で斑点米カメムシ類の密度を減らすことが重要です。
- 7月20日頃まで畦畔・農道、雑草地の除草（草刈り）を地域ぐるみで行いましょう。
- 水田内のイヌホタルイやノビエは、アカスジカスミカメの発生源になります。残草対策を徹底しましょう。
※除草剤は使用基準を確認し、使用しましょう。



アカヒゲホソミドリカスミカメ



アカスジカスミカメ

農作業事故・熱中症に注意！

山形県農薬危害防止運動実施中！～農薬を使用する際は使用基準を再確認！その都度記帳！～